

当財団は、昭和 14 年(1939 年) に東京海上火災保険の会長であった各務鎌吉の遺志に基づき、広く社会に貢献する人材の育成および学術研究の振興を図ることを目的として設立されました。本目的達成のため奨学生の募集を行います。

【当財団の特色】 (末尾<参考情報>参照)

- 国内奨学金の給与に加え、海外留学支援制度あり
- 奨学生一人一人との定期的な対話
- 奨学生(国内学部生、ASEAN 留学生)間の交流促進イベント開催

筑波大学

1. 応募資格

以下のすべての項目に該当し、大学推薦を受けた学部 2 年生 (2023 年 4 月現在)

- (1) 広く社会の発展のために貢献する強い意欲があること
- (2) 心身ともに健康で、学業成績、人物ともに優れていること
- (3) 学資が豊かでないこと (目安: 生計維持者の年収計 税込 1000 万円以下)
- (4) 財団行事への参加および奨学生間の交流に意欲があること
- (5) 他の民間団体の奨学金を併用しないこと
- (6) 当財団の奨学金を受領したことのある世帯の子弟でないこと

2. 他の奨学金との併用

- (1) 給付型奨学金
 - ① 民間団体による奨学金: 併用不可
 - ② 国の修学支援制度による授業料免除と JASSO 給付型奨学金: 併用可
 - ③ 大学独自の成績優秀者表彰制度・奨学金制度: 応相談
 - ④ 地方公共団体による奨学金: 応相談
- (2) 貸与型奨学金 : 併用可

3. 指定学部および採用予定数

- (1) 指定学部 : 社会・国際学群、理工学群、情報学群、生命環境学群、人間学群 (教育学類を除く)、人文・文化学群
- (2) 採用予定数 : 第 2 学年 合計 2 名 (前年採用実績 2 名)

4. 奨学金の内容および支給期間 (給付型につき返済不要)

- (1) 支給月額 : 50,000 円 (年額 60 万円)
- (2) 支給期間 : 2023 年 4 月~2026 年 3 月 (最短修業年限の終期まで)
- (3) 給付方法 : 4 月、7 月、10 月、1 月に 3 ヶ月分を本人口座へ振り込む
ただし、初回は 4~6 月の 3 ヶ月分を 6 月に給付

5. 応募方法

以下の書類を担当課経由で提出すること

- (1)学資給与願／自己紹介書／家計状態申告書
- (2)1年次成績証明書
- (3)健康診断書（後日送付可）
- (4)課税（非課税）証明書（写で可）

6. 応募締切

2023年5月2日（火）（財団必着）

7. 選考、結果通知、授与式

書類選考 通過者へ面接詳細をメールで連絡

面接 5月17日（水）

結果通知 5月18日（木） メールおよび書面にて本人宛に通知

授与式 5月30日（火） 12:00～16:00 東京にて開催

8. 奨学生の義務

(1)3か月毎、財団事務所またはオンラインで面談を行うこと

(2)参加必須の財団行事に出席すること

①授与式： 2023年5月30日（火）12:00～16:00 東京で開催

②交流の集い（奨学生懇親会）：毎年11月上旬 18:00～20:00 東京で開催

(3)奨学生間の情報交換を目的とする Facebook 非公開グループに年1回以上投稿すること

9. その他

(1)本要項に記載がない事項については、「学資給与規程」に定めるところによる

(2)選考結果に関しての問い合わせには公平性の観点から答えられない

10. 財団のホームページ <http://www.kagami-f.or.jp/>

以 上

<参考情報>

海外留学支援制度

種類	A. 留学奨学金	B. 在籍大学の修業期間を延長する場合の 国内奨学金（帰国後）
対象者	当財団の国内奨学生で、正規の最短修業年限までに3か月以上の留学をする者。 対象となる留学（語学研修のみは除く） ・派遣留学 ・私費留学 ・実践活動（インターン／ボランティア／フィールドワーク／プロジェクト学習）	当財団の国内奨学生で、留学を理由として在籍大学の最短修業年限を延長する者。
支給金額	最大月額 100,000円 （詳細はJASSO留学奨学金／地域別月額に準じる） 休学を伴わない派遣留学等の場合には、国内奨学金（月額50,000円）の上乗せとして上記額を支給する 別途、渡航支援金100,000円を渡航前に支給	月額 50,000円
支給期間	最長12か月	最長12か月
重複受給可否	他の留学奨学金との重複受給可 （トビタテ！、JASSO留学奨学金等との重複可）	重複受給不可 （募集要項「2. 他奨学金との併用」に準じる）

※上記 A・B いずれの奨学金も経済的必要性および実効性について審査あり

交流促進イベント

<p>奨学生（国内学部生、ASEAN 留学生、OBOG）間の交流を促進するため、以下のようなイベントを開催しているので、奨学生は積極的に参加すること</p> <p>① 日本の文化にふれる会（歌舞伎鑑賞教室、大相撲観戦等）</p> <p>② 奨学生向けセミナー合宿</p> <p>③ ASEAN を知る会 等</p>

記入上の注意

2023年度 学資給与願

PC入力可・様式の変更は不可

20 年 月 日

公益財団法人東京海上各務記念財団 御中

貴財団の2023年度国内奨学生募集要項に従い学資の給与を受けたく申し込みます。学資給与願および添付書類等の記載内容は、事実と相違ありません。

大学	学部	学科	2年	本人写真 3ヶ月以内に撮影 本人単身胸から上
ふりがな				
氏名				
20	年	月	日生 (満才)	
本人住所 〒	-			携帯電話番号
E-mail				
①				
② (予備)				
帰省先住所 〒	-			電話番号

学校区分	学 歴	年 月
中学		年 月
高校		年 月
大学		年 月

財団行事および奨学生間の交流とは
<参加必須>
 授与式 : 2023年5月30日(火)
 交流の集い: 毎年11月上旬
<参加任意>
 日本の文化にふれる会・ASEANを知る会・奨学生向けセミナー等
<Facebookの非公開グループでの交流>
 奨学生間の交流を目的として、情報発信(投稿)による交流

【確認事項】 募集要項を熟読の上、に確認の**✓**を入れてください。

- ・ 広く社会の発展のために貢献する強い意欲、志があります。 :
- ・ 健康状態は心身ともに良好で、修学上の問題はありません。 :
- ・ 財団の行事への参加および奨学生間の交流に意欲があります。 :
- ・ 他の民間団体の奨学金への応募はありません。 :
- ・ 奨学生の義務を確認しました。

期間を一部でも重複して他の民間団体による奨学金併用は不可

募集要項8. 参照

自己紹介書

氏名

【目指す人物像】あなたは将来どのような人物になりたいか。そのために大学4年間をいかに過ごし、何に挑戦するのか。

いずれの項目についても、意欲や思いが伝わるように、出来る限り具体的に詳しく記入する

【問題意識】国内外の社会問題のうち、最も意識し、関心があること。それについての自分の意見。

【専攻予定分野】関心のある学業分野とその理由。

【卒業後の進路】将来の職業ビジョン（現時点で考えていること）。

【海外留学予定・希望】有・無（希望する時期・期間・国地域・大学・専攻分野等を記入 インターンを含む）

【自己PR】

得意な学科		所属クラブ等	
性格		趣味／特技	
各種語学スコア・表彰・資格等			

2023年度 学資給与願

20 年 月 日

公益財団法人東京海上各務記念財団 御中

貴財団の2023年度国内奨学生募集要項に従い学資の給与を受けたく申し込みます。
学資給与願および添付書類等の記載内容は、事実に相違ありません。

大学	学部	学科	2 年	本人写真 3ヶ月以内に撮影 本人単身胸から上
ふりがな				
氏名				
20 年 月 日 生 (満 才)				
本人住所 〒	—			携帯電話番号
E-mail				
①		(財団連絡用/除くhotmail)		
②		(予備)		
帰省先住所 〒	—			電話番号

学校区分	学 歴
中学	卒業 年 月
高校	入学 年 月 卒業 年 月
大学	入学 年 月

【確認事項】 募集要項を熟読の上、 <input type="checkbox"/> に確認の <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。	
・ 広く社会の発展のために貢献する強い意欲、志があります。	: <input type="checkbox"/>
・ 健康状態は心身ともに良好で、修学上の問題はありません。	: <input type="checkbox"/>
・ 財団の行事への参加および奨学生間の交流に意欲があります。	: <input type="checkbox"/>
・ 他の民間団体の奨学金への応募はありません。	: <input type="checkbox"/>
・ 奨学生の義務を確認しました。	: <input type="checkbox"/>

自己紹介書

氏名

【目指す人物像】あなたは将来どのような人物になりたいか。そのために大学4年間でいかに過ごし、何に挑戦するのか。

【問題意識】国内外の社会問題のうち、最も意識し、関心があること。それについての自分の意見。

【専攻予定分野】関心のある学業分野とその理由。

【卒業後の進路】将来の職業ビジョン（現時点で考えていること）。

【海外留学予定・希望】有・無（希望する時期・期間・国地域・大学・専攻分野等を記入 インターンを含む）

【自己PR】

得意な学科

所属クラブ等

性格

趣味／特技

各種語学スコア・
表彰・資格等

家計状態申告書

氏名	
----	--

家族と所得の状況					
続柄	氏名	年齢	勤務先・職名または学校名・学年	給与所得金額 (税込)	給与以外の 所得金額 (税込)
				千円	千円
父					
母					

注) 生計維持者の課税(非課税) 証明書を添付のこと (写しで可)

本人の収入・支出(月額 円単位)					
		1年次 (実績)		2年次以降 (予定)	
収入項目	家からの収入	円		円	
	アルバイト (職種:)	円		円	
	当財団の奨学金			50,000 円	
	他の奨学金 (内訳を下欄に記入)	円		円	
	(名称) (金額) 円/月 (給与/貸与) (期間) 20 / ~ 20 /				
	(名称) (金額) 円/月 (給与/貸与) (期間) 20 / ~ 20 /				
その他収入 ()	円		円		
収入合計		0 円		50,000 円	
支出項目	食費 (本人支出分)	円		円	
	住居費 (家賃・光熱水道料計)	円		円	
	交通費	円		円	
	書籍・学用品費	円		円	
	授業料 (月平均支払額)	円		円	
	その他支出 ()	円		円	
支出合計		0 円		一致しません 円	

奨学金を希望する理由

家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	_____学群 _____学類 _____年次										
	学籍番号	_____					性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)		
	フリガナ	_____										
	氏名	_____							家族住所	〒 _____ TEL (_____)		
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額			
		父				年		万円	万円			
		母					年		万円	万円		
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
							年		万円	万円		
							年		万円	万円		
							年		万円	万円		
							年		万円	万円		
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額		
本人					筑波大学	国立		※自宅 自宅外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無	続柄 ()	氏名 ()	手帳番号 ()	万円					
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定					
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()									総収入金額
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()				必要経費	② 万円				
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()				特別控除額	③ 万円				
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()				総所得金額	④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。